

# 早大生の意識・マナー

## 社会的関心事

「国内政治」、「経済問題」、「凶悪事件の増加」が関心事のベスト3だけど、「教育問題」や「地球環境問題」も気になるね。文系の人には「国内政治」、理系の人には「地球環境問題」が一番関心があるみたい。

## 社会に関する情報源

「テレビ」と「新聞」が大事なニュースソース。ネット派も増えてきてる。学年が上がるにつれ、「新聞」と「インターネット」の割合が増加する傾向なんだ。



## 気になる学生のマナーは？

授業・ゼミ中の「私語」、「携帯電話」、「遅刻」がワースト3。「喫煙マナー」が良くないと思っている人もいますよ。



## 飲酒・喫煙マナー

「泥酔」、「大声を出して騒ぐ」、「路上での通行の邪魔」、「イッキ飲みの強要」はいただけないな。身に覚えのある人は十分に注意してよ。喫煙マナーは半数以上が悪いと指摘。特に「歩きタバコ」、「どこにでも捨てる」、「禁煙箇所での喫煙」が悪評御三家、他人に迷惑をかけないで楽しむのが大事だと思うけど。

## 不安や悩み

「進路・就職」はやっぱり不安。先輩たちは真剣に悩んでいる人が多いよ。「勉強・留学」の悩みも多い。特に1年生のときにはいろいろ考えたよ。

## 不安や悩みの相談相手

「友人」は最高の相談相手！「家族」にもよく相談しちゃう。でも、不安や悩みを「相談したくない」という自己解決型もいるよ。



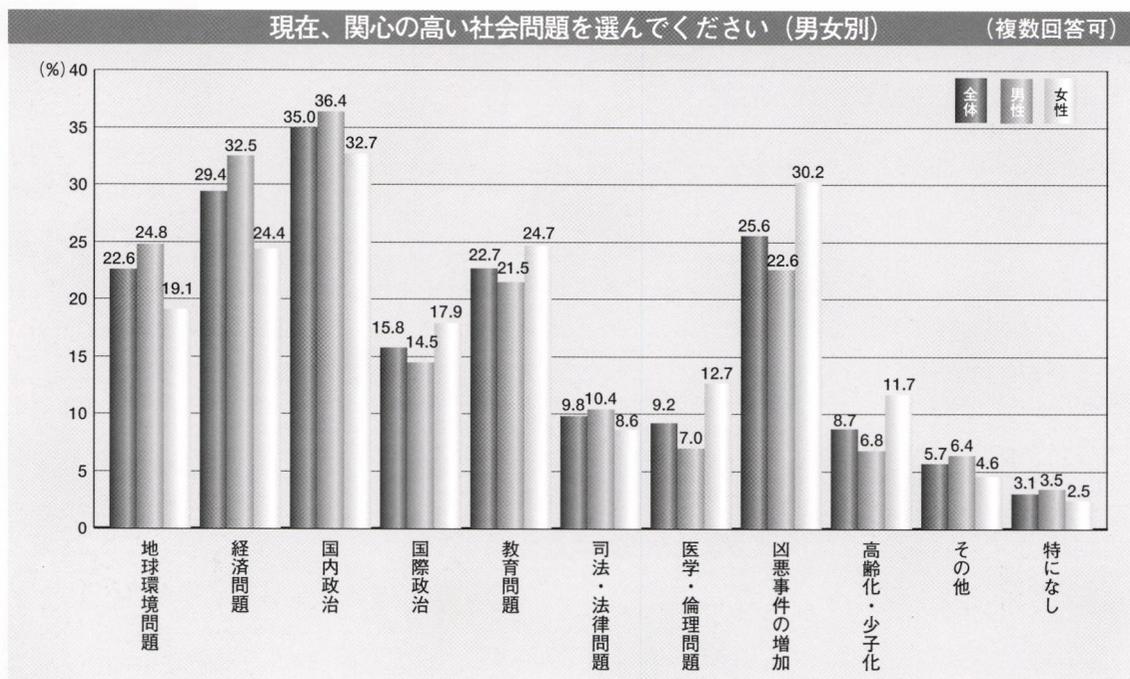
## 協力可能なキャンパス環境対策は？

大学は環境問題にどんどん取り組んでいるね。多くの人が「ごみの分別」、「紙の消費削減」、「無駄なチラシ・立看板を作らない」が実際に協力できる環境対策と考えているんだ。小さな一歩でも続けることって大事だよな。

## (1) 社会的関心事

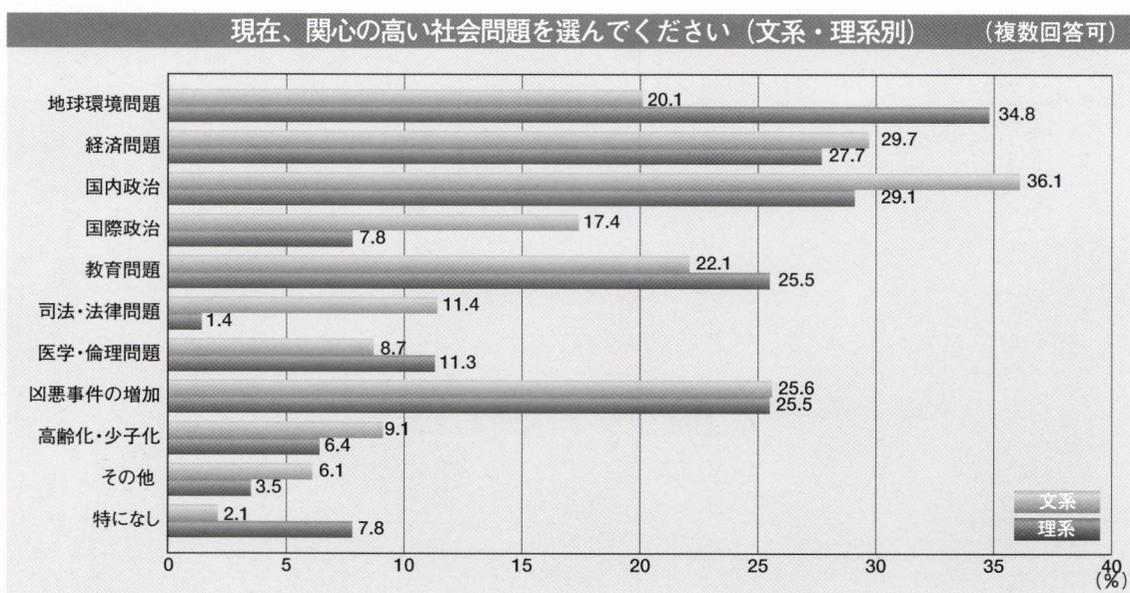
現在、社会は大きな転換期にあると言われています。みなさんは社会のどのようなことに関心を持っているのでしょうか。最も高い関心事は「国内政治」(35.0%)、次に「経済問題」(29.4%)、「凶悪事件の増加」(25.6%)、「教育問題」(22.7%)、「地球環境問題」(22.6%)の順となっています。「国内政治」に対する関心が最も高いのは、聖域なき構造改革を標榜している内閣の登場を反映しているものと思われます。

男女別に見れば、男女共に「国内政治」に対して最も高い関心を持っていますが、2番目に関心が高いのは、男性が「経済問題」であるのに対して、女性は「凶悪事件の増加」と違いが見られます。



また文系・理系別に見れば、8割強を占める文系学生が「国内政治」(36.1%)に最も高い関心を持ち、ついで「経済問題」(29.7%)、「凶悪事件の増加」(25.6%)の順となっているのに対して、理系学生は最大の関心事は「地球環境問題」(34.8%)であり、ついで「国内政治」(29.1%)、「経済問題」(27.7%)と違いがあります。

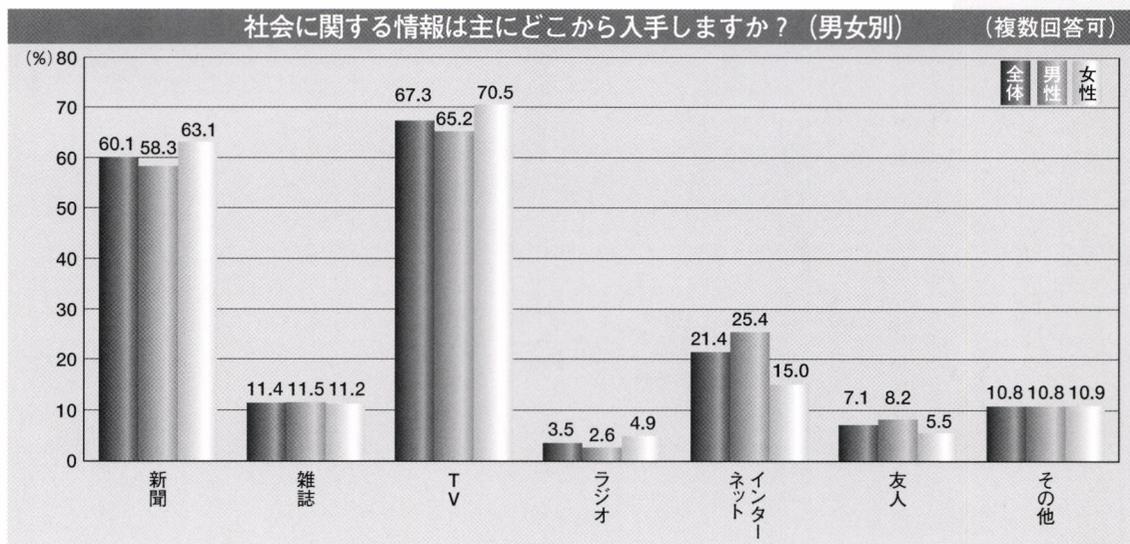
就職活動が身近になってくるからでしょうか、学年が上がるにつれ、「経済問題」についての関心が高まっています。特に、大学院学生の最大の関心事は「経済問題」であり、「国内政治」を上回っています。



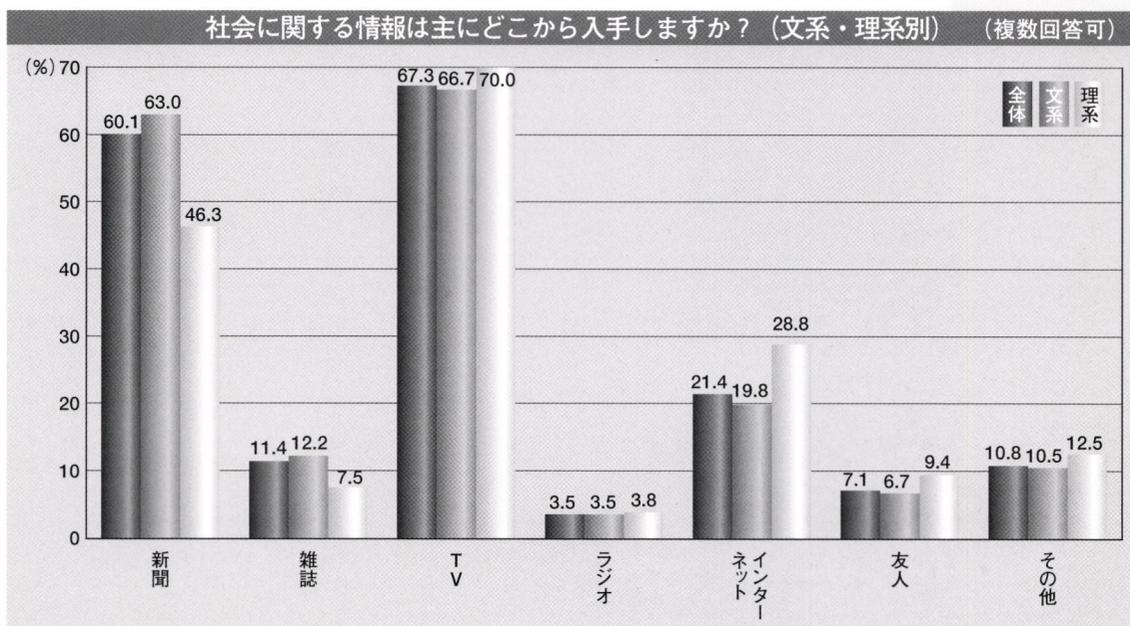
## (2) 社会に関する情報源

多くの学生は「TV」(67.3%)や「新聞」(60.1%)を情報源としています。「TV」や「新聞」とはかなり差がありますが、ついで多いのが「インターネット」(21.4%)を情報源としている場合です。「友人」から社会に関する情報を得る人は7.1%と意外に少ないようです。週刊誌もあれば、月刊誌その他と種類はさまざまですが、「雑誌」から情報を得ている学生も11.4%と少数派になっています。

男女共に「TV」と「新聞」が最大の情報源ですが、女性は70.5%が「TV」、63.1%が「新聞」に対して、男性は「TV」が65.2%、「新聞」が58.3%ですので、女性の方が男性よりもTVや新聞を情報源としてより活用しています。他方、「インターネット」の利用は男性(25.4%)の方が女性(15.0%)よりも多いようです。学年が上がるにつれ、新聞やインターネットの利用が増える傾向にあります。このことは、就職活動との関連が考えられます。大学院学生の「インターネット」の利用は学部学生より多く、30.3%となっています。



文系・理系の学生はともにTVと新聞から最も多く社会に関する情報を得ていますが、文系学生は「TV」(66.7%)と「新聞」(63.0%)にはそれ程差がありません。それに対して、理系学生は「TV」(70.0%)の利用が「新聞」(46.3%)よりも相当多くなっています。また、「インターネット」の利用については、文系学生が19.8%であるのに対して、理系学生は28.8%と、理系学生の利用が高くなっています。インターネットの利用は今後ますます増加することが予想されます。

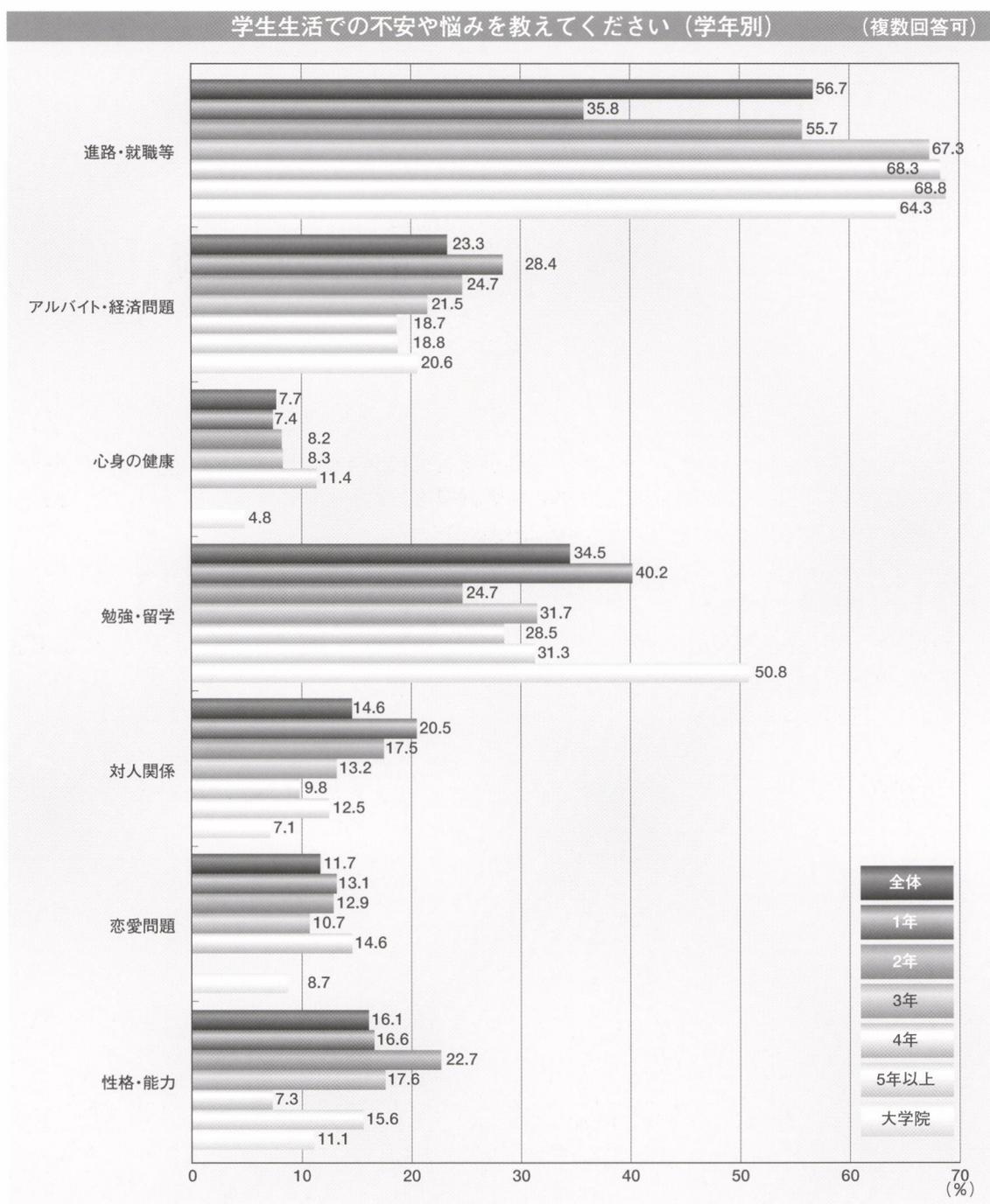


### (3) 学生生活の不安や悩み

学生生活に不安や悩みはつきものです。不安や悩みについて、「進路・就職等」が最も多く56.7%となっています。ついで34.5%の「勉強・留学」、23.3%の「アルバイト・経済問題」の順になっています。それほど多くはありませんが、「性格・能力」(16.1%)、「対人関係」(14.6%)、「恋愛問題」(11.7%)で悩んでいる人もいます。

「進路・就職等」の悩みは、1年生では35.8%とそれほど多くありませんが、学年が上がるにつれ大きな悩みとなり、3年生以上では7割弱を占めるに至ります。大学卒業後の進路・就職が身近な問題となっていることを反映しています。

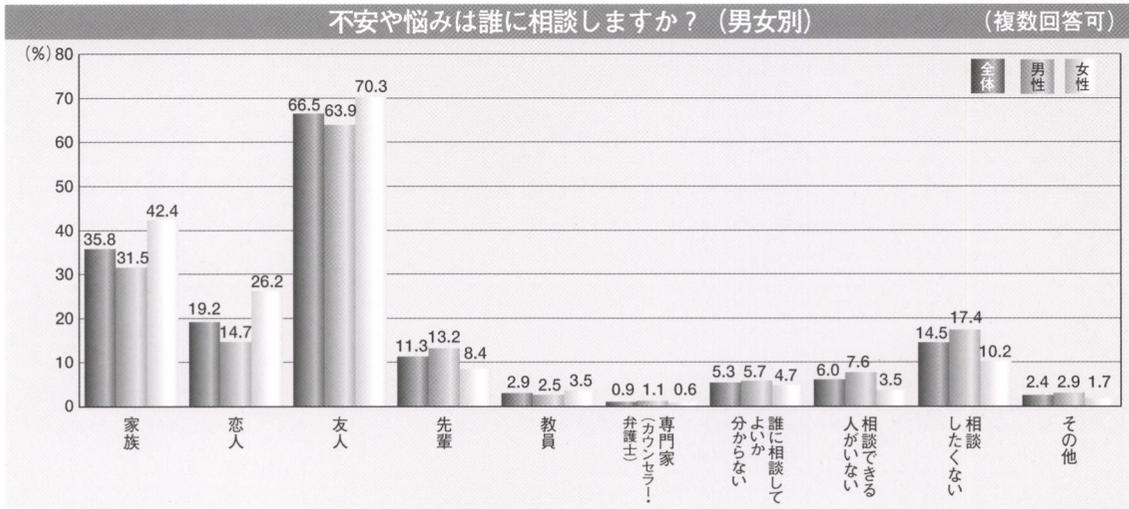
1年生で最も多い悩みは「勉強・留学」(40.2%)です。入学してから間もないですから、よく分かりますね。この悩みは、大学生活に慣れてくることによるものでしょうか、学年が上がるに従い減少します。しかし、学部を終えて進学した大学院学生では「勉強・留学」で悩んでいる人は50.8%と半数を占めます。「アルバイト・経済問題」や「対人関係」での悩みは、1年生のときが多く、2年、3年と上がるにつれ悩みは減っています。



## (4) 不安や悩みの相談相手

それでは不安や悩みがある場合、誰に相談するのでしょうか。相談相手として「友人」が66.5%と最も多く、ついで「家族」(35.8%)、「恋人」(19.2%)です。一方では、不安や悩みがあっても「相談したくない」と思っている人は14.5%です。この中には、自分の悩みは自分で解決するという人ももちろんいるでしょうが、「誰に相談してよいか分からない」(5.3%)、「相談できる人がいない」(6.0%)も含まれていると思われます。

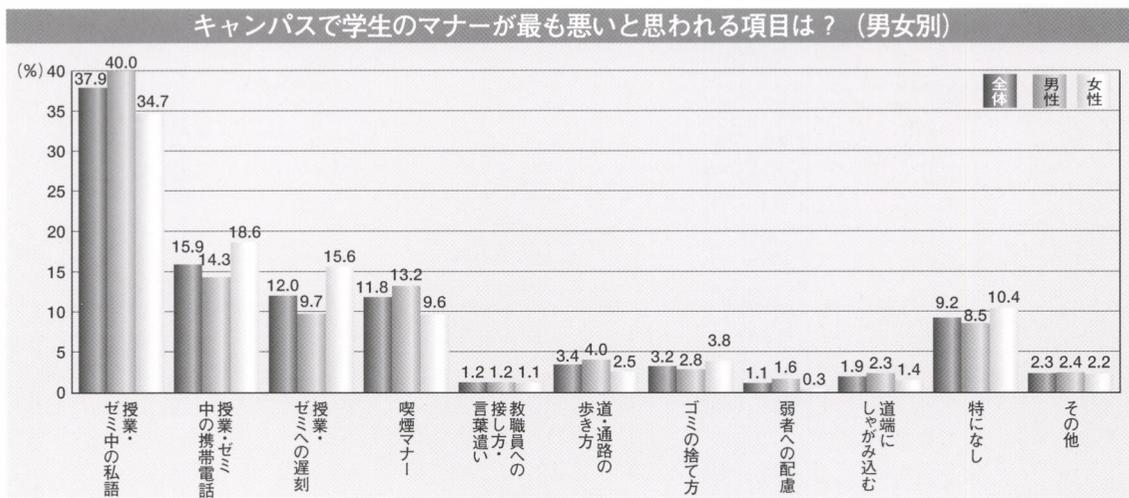
「教員」に相談する学生は2.9%に過ぎません。この数字を意外に少ないと見るか、そうではなく妥当と見るか、意見が分かれるところでしょう。不安や悩みの性質、程度にもよるでしょうが、「専門家(カウンセラー・弁護士)」に相談を持ちかけることも、0.9%と極めて少数です。大学にはカウンセラーをはじめ専門家がいます。「誰に相談してよいか分からない」あるいは「相談できる人がいない」人は是非一度、総合健康教育センターの相談室を訪れてほしいものです。



男女別に見ると、「友人」、「家族」が男女共に上位を占めています。女性では「友人」(70.3%)、「家族」(42.4%)と男性の63.9%、31.5%よりも多くなっています。「恋人」に不安や悩みの相談相手になってもらうのは、男性の14.7%に対して女性は26.2%と、女性のほうがかなり多いことがわかります。不安や悩みがあっても誰にも「相談したくない」と答えた人は、男性(17.4%)のほうが女性(10.2%)よりも多い結果となっています。

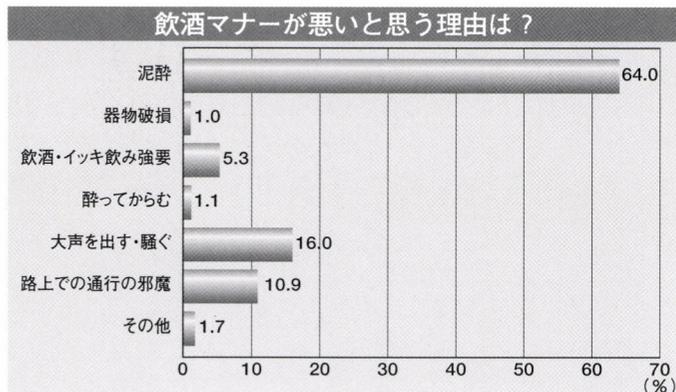
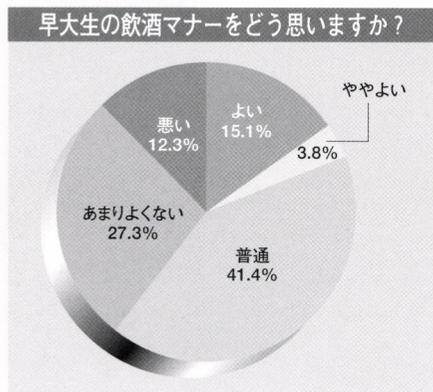
## (5) 気になる学生のマナーは何？

「授業・ゼミ中の私語」が最も多く37.9%を占めています。ついで「授業・ゼミ中の携帯電話」(15.9%)、「授業・ゼミへの遅刻」(12.0%)、「喫煙マナー」(11.8%)の順となっています。逆に「特になし」も9.2%あります。男女別に見ても、男女共に「授業・ゼミ中の私語」を挙げています。

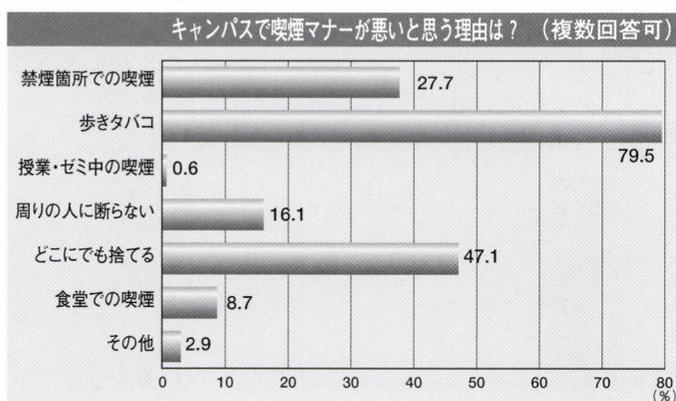
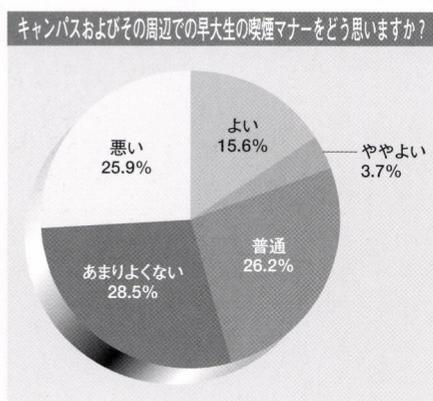


## (6) 飲酒・喫煙マナー

多くの人が飲んでいるお酒のマナーは、「よい」と「ややよい」とを合わせて18.9%に過ぎません。このことは男性も女性も似ています。「普通」(41.4%)が最も多くなっています。「悪い」、「あまりよくない」を合わせると39.6%になります。つまり5人に2人が飲酒マナーがよくないと思っているわけです。中でも、「泥酔」(64.0%)、「大声を出す・騒ぐ」(16.0%)、「路上での通行の邪魔」(10.9%)、「飲酒・イッキ飲み強要」(5.3%)はいただけません。身に覚えのある人は十分に注意を。



喫煙マナーは半数以上(54.4%)の人が良くないと答えています。悪評御三家は、「歩きタバコ」(79.5%)、「どこにでも捨てる」(47.1%)、「禁煙箇所での喫煙」(27.7%)です。キャンパス別に見ると、「よい」と答えた人が一番多いのは「所沢キャンパス」です。他方、「悪い」が一番多いのが「大久保キャンパス」と「西早稲田キャンパス」です。



## (7) 協力可能なキャンパス環境対策は何？(複数回答)

実際に協力可能な環境対策として、「ゴミの分別(弁当容器・ペットボトル・缶等)」(45.6%)、「紙の消費削減(両面印刷・両面コピー、古紙リサイクル)」(37.0%)、「無駄なチラシ・立看板をつくらない」(28.0%)、「節電・節水」(20.7%)の順となっています。

